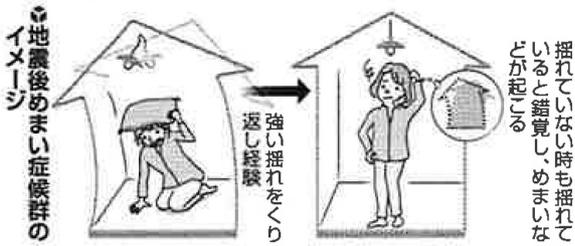


「地震後めまい」患者増

熊本 揺れなくても「感じる」

28日に通算の地震回数が1000回を超えた熊本地震。被災地では、地震が発生していない時も体の揺れやふらつきなどを感じる「地震後めまい症候群」の症状を訴える患者が増えている。強い地震が続いたことに加え、車中泊や避難所生活のストレスが発症の引き金になっている可能性が高い。東日本大震災でも同様の症状が問題になり、専門家は、症状が重い場合は医療機関を受診するように呼び掛けている。

余震、避難ストレス 患者9割女性



熊本県宇城市の松橋耳鼻咽喉科・内科クリニックでは、19日から27日まで、同症候群とみられる症状を訴えて44人が受診した。年齢層は13～89歳と幅広く、うち女性が9割近く(38人)を占める。体の揺れやふらつきを訴える患者が多く、自分や周囲のものが動いたたり、回転したりするよう感じる例もあった。44人のうち、20人は車中泊を続けている人で、14人は避難所生活を送っていた。避難生活に強いストレスや不安を感じている人が目立つという。

熊本市東区の熊本赤十字病院でも、25日に同症候群とみられる患者2人が受診した。

地震後めまい症候群のイメージ

地震の爪痕が残る健康商店街でも水道などが復旧し、営業する店舗が徐々に増えている(27日午後、熊本市東区で)＝加藤学撮影



営業再開「被災者の力に」 熊本・健康商店街

19日から営業を再開している和菓子店「NEW若草」の従業員郷陽子さん(64)は、「この店が開いていて良かった」「甘いものは久しぶり」と喜ぶお客さんの声が届く。「いつも通りに店を開くことが、被災者の力になると知った」と語った。

アーケードとスーパー棟が倒壊した熊本市東区の健康商店街では大半が休業に追い込まれたが、18日頃に水道、25日頃にガスが復旧し、全52店舗中28店舗が27日までに営業を再開した。

日本めまい平衡医学会認定した。

東日本大震災の被災者にも、地震後めまい症候群の症状がみられた。盛岡市内で被災した女性

「東日本」でも「症状数か月」

定めのまい専門会員である松吉秀武・同クリニック院長(49)は、「専門医以外にはあまり知られておらず、報告例は少ないが、避難所にいる潜在患者を含めれば、熊本県内の患者は1000人規模に及ぶのでは」と話している。

「東日本」でも「症状数か月」

東日本大震災の被災者にも、地震後めまい症候群の症状がみられた。盛岡市内で被災した女性

もあつた。周囲でも同様の症状を訴える人は多かったという。

震災後、宮城県名取市の避難所で被災者を対象に調査を行った川越耳科学研究所クリニック(埼玉県)の坂田英明院長によると、「ふわふわしている」など、約8割が同様の症状を経験していた。うち、2割は症状が数か月続いたという。

坂田院長は、「熊本地震では、余震の回数が多く、さらに春から夏にかけて気圧が不安定な時期でもあり、より症状を感じやすい環境なのではないか」と指摘している。

千葉の女性殺害 近所の男逮捕へ

千葉市稲毛区の契約社員茅野利奈さん(41)が自宅アパートで殺害された事件で、県警が近くに住む男(29)について、強盗殺人などの容疑で逮捕状を取ったことが捜査関係者への取材でわかった。28日午後、逮捕する。

茅野さんは東京都内の勤務先を1日夜に出て、4日夜、遺体で見つかった。男はこの間、茅野さんの部屋に強盗目的で押し入り、刃物で刺殺した疑いが持たれ

「地震後めまい」患者続出
遠の時をさまよふ吸血鬼エドガー、
アランと彼らをとりにまく人々を描い
「ポ
に、エドガーとアランが、ドイツ人少
女と出会う話を中心になるという。

「地震後めまい」患者続出

28日に通算の地震回数が1000回を超えた熊本地震。被災地では、体の揺れやふらつきなどを感じる「地震後めまい症候群」の症状を訴える患者が増えている。14日の「前震」以降、相次ぐ余震に加え、車中泊や避難所生活でのストレスが発症の引き金になっている可能性が高いとみられる。

発生から2週間となった熊本地震の揺れは、新潟県中越地震(2004年)で本震後1年間に記録した997回を上回った。相次ぐ地震に、熊本県宇城市の松橋耳鼻咽喉科・内科クリニックでは、19日から



余震頻発 避難ストレス原因?

体の揺れ ふらつき 訴え

地震後めまい症候群 地震の揺れを何度も経験したことで、地震でなくても体の揺れやふらつきなどを感じる症状。平衡感覚をつかさどる耳の中の三半規管に過度な負荷がかかることや、ストレスや不安感が高まることなどによって、自律神経の失調を招くことなどが原因となる。

日本めまい平衡医学会認定のめまい専門会員である松吉秀武・同クリニック院長(43)は、「専門医以外にはあまり知られておらず、報告例は少ないが、避難所にいる潜在患者を含めれば、熊本県内の患者は100人規模に及ぶのではないかと指摘する。被災者の生活環境を早急に整え、ストレスや不安を軽減するこ

ら27日までの間、同症候群とみられる症状を訴えて44人が受診した。年齢層は13〜89歳と幅広く、うち女性が9割近く(38人)を占める。体の揺れやふらつきを訴える患者が多く、自分や周囲のものが動いたり、回転したりするように感じる例もあった。44人のうち、20人は車中泊を続けている人で、14人は避難所生活を送っていた。避難生活に強いストレスや不安を感じている人が目立つという。

東日本大震災でも2〜3割、症状数か月」



熊本地震からの一日も早い復旧・復興を――。JR九州は28日、博多(福岡市)―鹿児島中央(鹿児島市)間の九州新幹線で、「元気に!九州」と書かれたシールを車両に貼った「ラッピングトレイン」の運行を始めた。九州全体を元気づけようと企画。1号車の両側に黒い文字を大きく貼りつけている。1号車は上り列車の場合、最後尾にあたり、28日は鹿児島中央駅を午前8

復興願い 走る

九州・山陽新幹線 相互乗り入れ再開 熊本では徐行続く 熊本地震の発生から28日で2週間となり、鉄道網の復旧が進んでいる。同日は九州新幹線と山陽新幹線の相互乗り入れが始まり、JR豊肥線も大分県内一部の区間で運転が再開された。しかし、被害が大きい

東日本大震災の被災者にも、地震後めまい症候群の症状がみられた。盛岡市内で被災した女性(41)は、何も無いのに揺れを感じる状態が4か月ほど続いた。「本当に地震で揺

れているのか、自分が感じているだけなのか、わからなかった」と話す。震災後、宮城県名取市の避難所で被災者を対象に調査を行った川越耳科学研究所クリニック(埼玉県)の

坂田英明院長によると、「ふわふわしている」など、約8割が同様の症状を経験していた。うち、2〜3割は症状が数か月続いたという。坂田院長は「熊本地震では余震の回数が多く、気圧が不安定な時期でもあり、症状を感じやすい環境なのではないか」と指摘している。

地震に負けるな

募金

▽内閣府 ①みずほ銀行虎ノ門支店(普通口座4386254) ②三菱東京UFJ銀行東京営業部(同0952424) ③三井住友銀行東京公務部(同0175055) ④ゆうちょ銀行(口座番号00170・6・292463)

▽熊本県 ①ゆうちょ銀行(口座番号00940・0・174320) ②肥後銀行豊前支店(普通口座1A9Q2R1)